



運営協議会だより

第2号

代表 近藤 弘文 校長 竹村 郷

第2回地域協働学校運営協議会が開催されましたので、議事の概要をご報告します。

■日時 平成30年6月12日 17:00~18:00

■場所 落合第六小学校 視聴覚室

■司会 副校長 庖刀 由利子

1. 校長挨拶

運動会は大変お世話になりました。本校及び落合地区すべて無事に終えることが出来ました。

2. 内容

・転入教員紹介…自己紹介

宮良 杏子(3-2) 細小路 幸剛(4-1)

中澤 純一(6-2)

矢沢 悠子(3-1) 本日欠席

・グラグリッド社 和田 あずさ様

グラフィックレコーディング・パシリテーショングラフィック

絵を活用して話し合いを促す、創造性を伸ばす授業、学び方の手助け

教員への研修依頼…パシリテーショングラフィックをどのように授業に取り組みか

子ども意見を書き留める、授業の内容を書き留める…見える化

質問) 絵で表現は大人には難しいのでは?

回答) 絵心が無い方が一番習得します。3秒くらいで書ける絵…四角を組み合わせているだけ
コミュニケーションのための絵

質問) 聞きながらパシリテーターを行うのは大変ではないか?

回答) 2人で行うこともありますが、回答を書き留めながら話し合いの戦略を考えるので1人でおこなうことが多いです

質問) どの科目もこのようなスタイルなのか?

回答) 情報共有のためのもの 後で見直す時に理解しやすい表現にしてある

回答) 落六ダッシュなど学年が違う場合など、立場が違う場合に有効

将来へ向けて言語・価値観が様々な人達と仕事をしていく世の中になっていく…絵の力

意見) 絵だけではわかった気になるだけではないか。文書化して回答が分かる

回答) 話し合いのツールでアイデアの表現…絵、その中で話し合いを深め文書化、言語化することで足りないことに築くことがある 双方の組み合わせが必要 段階を追う

・国語の少人数授業…絵で表現してはいないが構成的に文章を読み解いている—プログラミング

・話し合いの目的から考えて書いていく—とっかかり、構造を理解する

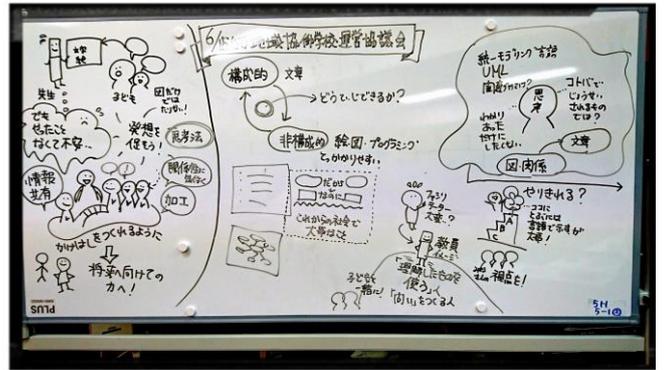
・見通しが見えないとできない—教員が導く

校長) ~だからの教育から~なののにの教育にかえていく

小学生なのに・・・をやっついていかななくてはならない⇒ unnecessaryなものに肉付けをする

読み取り、考え、意見交換したことをノートに残す

教員は子どもたちに問いをつくる授業を行う—思考を学ばせる



教員も子どもたちと一緒に研修を行っていく

【意見交換】 近藤会長進行・・・

- ・ 運動会は新しい先生方が増えたことを感じさせないような進行でした
- ・ 1時間遅れは前日に決めて頂き親としては助かったと思います
- ・ 子どもたちの様子で自分の意見を堂々と言えるようになってきている
- ・ ダッシュで個々を伸ばし、パシリテーショングラフィックで意見を構成する落六の子どもたちは頼もしいです
- ・ いろんな発想が出て授業が楽しくなるのでは…
- ・ 絵を描くことは取っ掛かりやすくなる
- ・ 運動会の音響があまり良くない

【次回の予定】

7月17日（火） 17:00～ 落合第六小学校 視聴覚室にて

【出席者】

近藤 弘文、橋 完太、北野 清治、橋田 稔、水上 真理、篠田 邦子、亀井 治子、竹村 郷、大久保 京子（書記兼務）

庖刀 由利子（副校長）、中家 恵美（主幹）

遠藤 剛（落合第二地区 特別出張所 所長）、樋口（教育支援課地域家庭教育係）

和田 あずみ（グラグリッド社）

